

市内7カ所で 空間放射線量を 測定しています

危機管理課危機管理係
0824-73-1206

東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生し、放射線量に対する市民の関心や不安が高まっています。

市は、3月から毎月市内7カ所(市役所本庁舎・各支所庁舎付近)で空間放射線量の測定を実施し、市民の皆さんへ情報提供するとともに、今後の放射線対応のための基礎資料にしています。

身の回りにおける放射線

放射線は人工的なイメージがありますが、私たちの身の回りにはごく自然に存在しています。目には見えませんが、私たちの体は常に微量の放射線を受けています。日本国内での年間の平均放射線量は約0.99〜1.4ミリシーベルト、世界平均では年間2.4ミリシーベルトと言われています。

測定方法

- 地表面から高さ1メートルの地点を測定する。
- 30秒ごとに5回測定し、平均値をその地点での測定値とする。

測定結果(3月)

(単位:μSv/時)

地域	場所	日	時	データ
庄原	市役所駐車場	18日	13:10	0.078
西城	西城球技場	22日	15:10	0.090
東城	東城支所駐車場	19日	16:40	0.044
口和	口和自治振興センター駐車場	19日	10:30	0.086
高野	高野支所駐車場	19日	11:15	0.126
比和	比和支所駐車場	19日	11:50	0.104
総領	総領自治振興センター駐車場	22日	11:25	0.096

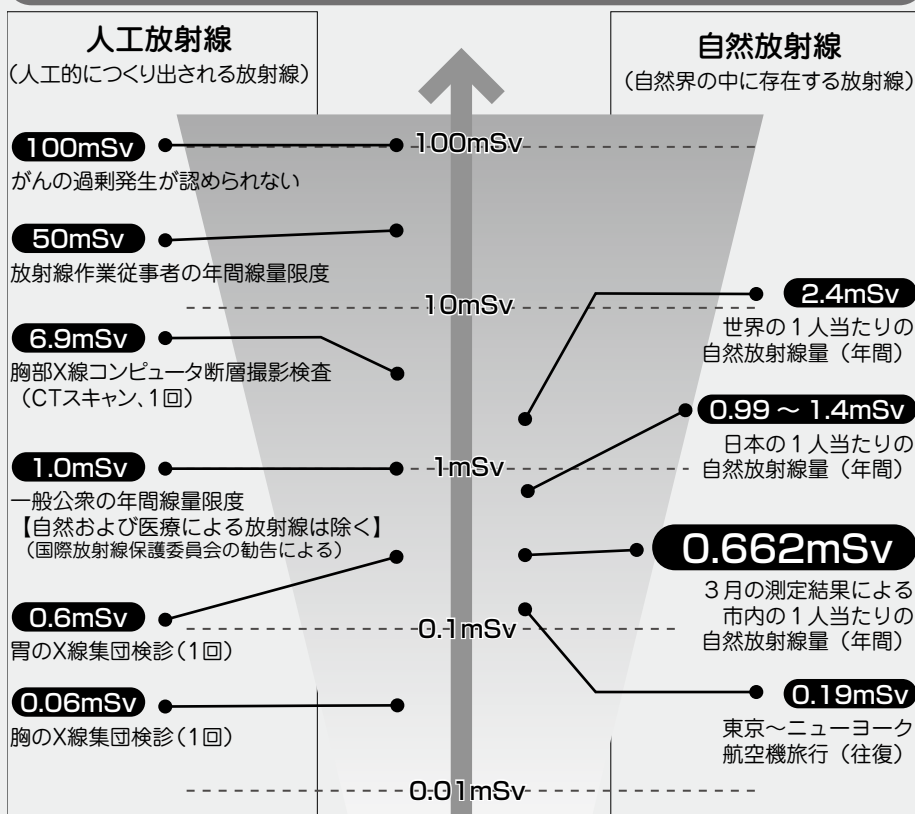
※毎月の測定結果は、市のホームページでお知らせしています。

測定機器
ミリオンテックノロジーズ社製RDS-31



放射線量を測定する職員

★放射線の目安表★



■単位解説(シーベルト) ……放射線による人体への影響度合いを表す単位
1シーベルト(Sv)=1,000ミリシーベルト(mSv)
1ミリシーベルト(mSv)=1,000マイクロシーベルト(μSv)

測定結果から1年間の放射線量を推計する方法
私たちは一日をさまざまなところで過ごします。一日のうち屋外に8時間、屋内に16時間滞在するという生活パターンを想定し、次の計算式で計算します。屋内にいる場合は、放射線に対する遮へい効果により放射線量は屋外の約4割に減少すると考えられています。

計算式

測定結果×(8時間/24時間+16時間/24時間×0.4)×24時間×365日

例 3月の測定結果で市内で1番高い数値(0.126μSv/時)を当てはめて計算した場合

0.126マイクロシーベルト/時×(8時間/24時間+16時間/24時間×0.4)×24時間×365日=662.256マイクロシーベルト/年

★1年間の放射線量は0.662ミリシーベルトとなります。